



管理職のみなさんに 取り組んでほしいこと

平成29年4月3日 部課長会

生駒市長 小紫 雅史



1. 施策のスクラップ&ビルド

効果的な取組を新たに企画・実施

- ・ **先進事例**にアンテナを高く
- ・ **市民ニーズ**の把握

←関係者・団体との日頃のコミュニケーション

10月ヒアリング
に具体化



効果の低い取組を**縮小・廃止**

- ・ 業務仕分けを各レベルで
(市・部・課・係)

イベント・施策
広報物



2. 市民との「協創」

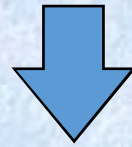
① 「現場の声」を誰よりも詳しく

- ・ 関係団体との信頼関係
(市とコラボできる**キーパーソン**の発掘)
- ・ 多様化、専門化するニーズの把握
- ・ 接遇の徹底と的確な対応



②市民は単なる「お客様」ではない

市民のニーズをしっかりと把握し、接遇を向上させるのは当然のこと



しかし、市民ニーズに応えるだけが全てではない



- ・単にお客様扱いせず、**街づくりのパートナー**として協創を進める
- ・職員もこれまで以上に汗をかく



③ ワークショップの重要性

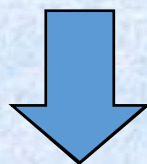
ワークショップやティーミーティングの活用

- ・ 身近な意見を基にニーズを把握する
- ・ 様々なアイデアの募集
- ・ 人材の発掘



3. 部下の育成

仕事を教えるだけではダメ



- 組織の課題、問題点、疑問を出させる
- 自分PTを設定させる、役割を与える

→ 少し背伸びしたことに挑戦させ、

その評価とアドバイスを

- 業務にルーティンもクリエイティブも
- 自主勉強会、研修等への参加を促す、

クロスメンターへの理解



4. 広報・広聴の徹底

<積極的な情報の発信>

- ・ 市の取組を積極的にPR
- ・ **迅速かつ適切**なタイミング
- ・ **広報担当職員**の活用
- ・ Web、SNSなど発信ツールの再整理・研修

Web
SNS 広報紙
投げ込み、会見

<議会への対応>

- ・ 我々はプロの行政官、**萎縮する必要はない**
- ・ 議会からの意見、提言には**真摯に対応**



5. より広く深い視点で行政を！

<時間軸>

10～20年後のビジョンを見据える
(過去だけでなく将来のことを考えて)

<テーマ軸>

担当課を越えて、横へも目線を送る
(他課や生駒市全体の動きに注視)